

市長（作野広昭君）

小川議員の質問にお答えをいたします。

広大な市域を有する本市のまちづくりについては、現在見直しを進めております区域区分に伴い、均衡ある発展と良好な市街地の形成、そして農地の保全、行政の効率化を図るとともに、中心市街地活性化に向けて関係機関との調整を図っております。

また、公共交通ネットワークの整備進捗にあわせまして、JR白山駅及び周辺の開発整備と交流人口の増加を目指しております。さらには、白山手取川ジオパークを核として、ジオサイトを拠点とした観光ルートの確立を図り、山ろく地域を中心とした観光振興策による活性化を図ってまいります。

加えて、今般の東日本大震災を踏まえた災害対策の見直しや地域福祉、教育環境の整備、生涯学習や体育施設の充実などについても、最少の経費で最大の効果を挙げるよう鋭意推進してまいります。

豊かな自然と伝統文化にはぐくまれた本市において、将来にわたって安心して生活できるまちづくりを進め、引き続き市民の一体感の醸成と地域間交流を推進し、県内一の自治体づくりを目指していきたいと考えております。

いずれにしましても、総合計画の後期基本計画の見直しにあわせまして、議員各位と未来のまちづくり像について協議してまいりたいと考えております。

次に、小川議員指摘の税収アップを掲げた予算編成につきましては、将来に向けて安定した税収の確保に取り組むことといたしております。

まず、優良企業の誘致に向けては、新たな工業団地の整備を進めるとともに、積極的な土地区画整理事業の実施により定住人口の拡大を図ってまいります。さらには、新たな定住促進に向けた助成制度の創設などについても、新年度予算編成の中で検討してまいります。

一方、小川議員がかねてより御提案の市税収入等の収納率向上を図るための債権管理条例につきましては、来年6月議会での制定を目指しており、滞納整理の強化に努めてまいる所存であります。